

令和5年度の終わりに



昨年の5月8日、新型コロナウイルス感染症が2類感染症から5類感染症に引き下げられました。そのことで、何だか新型コロナウイルス感染症が収まったかのような感覚になりますが、まだまだくすぶっています。そのような中、多くの学校行事をコロナ流行前の状態に戻すのか、改善し新たなものにしていくのか、検討することが多々ありました。大切にしていたことは、原点に立ち返るということです。何のためにするのか、なぜ必要なのかを考えることで、どうすべきか答えが見えてくることがあります。まだまだ検討すべきことは多くありますが、今後も子供たちの成長を支えるために、あるべき姿を探っていきたいと思います。

さて、この一年間にテレビ、ラジオ、新聞、SNSなどで発信された言葉の中から、聞いた人が「前向きになる名言 No. 1」を決定する「名言グランプリ 2023」がネット上で発表されていました。「名言グランプリ 2023」の第1位は、「憧れてしまったら 越えられない」です。みなさん御存じのとおり、この言葉は、WBCの決勝戦の前に大谷翔平選手がチームに向けて発した言葉です。実績のある大谷選手が発した言葉だからこそ説得力があるのかもしれませんが。そして具体的な目標を持ち挑戦し続けた大谷選手の言葉ですから、やはり重みがあります。何のためにするのか、なぜ必要かを考えた後は、子供たちの成長のために、具体的にどうすべきか考え実行することを大切にしていきたいと思います。

今年度も、保護者の皆様には、学校教育に対しまして御理解と御協力をいただきありがとうございました。4月から子供たちは、新たなステージでの生活が始まります。保護者・地域・教職員が一丸となって、子供たちの健全な育成を支えていきたいと思いますので、今後とも御理解・御協力をよろしくお願いいたします。（教頭）

「未来へはばたけ ありがとう集会」

3月5日（火）の2、3校時に6年生を送る会が行われました。子どもたちは、6年生に感謝の思いを伝えようと、5年生を中心に準備を進めてきました。

花のアーチをくぐり抜け、大きな拍手の中、1年生からもらったプレゼントを身に付けて6年生が入場しました。最初は、1年生の出し物の「ありがとう6年生」です。今までお世話になった6年生にありがとうのメッセージを伝えました。次は2年生の「6年生にエール」。ダンスを披露したり応援のエールを届けたりしました。3年生は「6年生にチャレンジ」。雑巾がけレース、フラフープ、縄跳びで6年生と対決です。最初は、6年生が3年生に気を遣って勝ちを譲っていましたが、最終結果は、やはり6年生の勝利でした。4年



生は「思い出のアルバム」です。6年生は協力してパズルを組み合わせ、思い出の写真を完成させました。5年生は「クイズ！6年生に聞きました！」です。6年生へのアンケート結果をクイズにして出題しました。ほかにも、以前お世話になった先生方からのビデオメッセージや、教職員からの歌のプレゼントもありました。そして、最後に6年生からは「ありがとう」の歌のお礼がありました。



6年生も在校生も笑顔があふれ、心温まるすてきな集会となりました。6年生との楽しい思い出の1ページとなりました。
(特活主任)



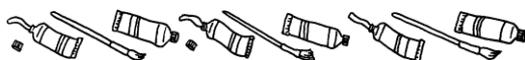
御卒業おめでとうございます！

いよいよ3月22日、6年生134名が卒業のときを迎えます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症予防による制限が緩和され、縦割り班活動や運動会の応援合戦、マスクを外しての校内音楽会など、通常どおりの行事が復活し多くの体験をすることができた1年間でした。学校のリーダーとして経験したことは、とても貴重な心の財産になります。自分たちで企画運営し創造する。その過程で友達と関わり友達の良さを新たに知る。異学年に対しての相手意識を持ち、発達段階に応じた内容や言葉を選ぶ。活動内容を想像し、必要なものを想定し事前に準備する。つまり、「段取り八部仕事二部」という下準備の重要さを自然と学んでいくのです。その中で、幼さの残っていた6年生も、しっかりとした顔つきになり、たくましく成長しました。

先日の6年生を送る会では、全校のみんなに卒業を祝ってもらい、満面の笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。感謝の言葉をたくさんもらって温かい気持ちになりました。最高学年として頑張ってきた緊張感や疲れが吹っ飛んだことでしょう。卒業式も立派な姿を見せてくれることと思います。

6年間、子供たちの成長を見守り支えてくださった地域の皆様、保護者の皆様に、心より感謝を申し上げます。大好きなふるさと垣生で成長し続ける子供たちを、今後ともよろしく申し上げます。
(6年学年主任)



2月の俳句の里賞



今年も垣生っ子たちは、じっくり俳句と向き合うことができていました。心が動かされるすてきな俳句をたくさん作りました。冬の俳句を紹介します。来年度も俳句づくりを通して言葉や感性を磨いてほしいと思います。
(国語部員)

きたかぜと天まで上がるぼくのたこ	1年	男子
ふくぶくろさいごにあけるお楽しみ	2年	男子
書き初めでねがう筆先トンスートン	3年	女子
雪がまうつないだ一点ハイタッチ	4年	男子
ねこねむるにいちゃんもねむる冬の夜	5年	男子
弟とこたつでオセロいとこ待つ	6年	男子

垣生小学校ホームページも御覧ください。

